

耳鼻いんこう科

診療スタッフ

医長 大平 真也
医員 綱 由香里

診療概要

耳鼻咽喉科全般の診療を行っております。外来は1日平均70~100名程度の患者さんに受診していただいております、そのうち地域の病院からの紹介状は3~8件ほどです。救命救急センターからのコンサルトも多く、多い日は1日に5件ほど、鼻出血、急性炎症、めまい、顔面神経麻痺、外傷などの対応を行っております。また、2021年度より頭頸部外科、歯科口腔外科が新たな診療科として新設されたため、頭頸部における悪性疾患は各科と連携し、診断・治療を依頼しております。また、週に2回補聴器相談の外来を設けております。さらに、難治性の好酸球性副鼻腔炎や重症アレルギー性鼻炎の患者様に対しては生物学的製剤の導入も積極的に行っております。

入院されている患者様は急性炎症性疾患の他、顔面神経麻痺、突発性難聴等、入院加療が必要な様々な疾患に対応しております。顔面神経麻痺の予後不良症例に対しては積極的に顔面神経減荷術を行い、残念ながら後遺症が残ってしまった症例に関しては形成外科と協力して後遺症の改善を目指しております。突発性難聴に対しては、重症度や患者様の意思を尊重し、高気圧酸素療法の選択肢も提示させていただいております。

手術は慢性中耳炎に対する耳科手術や慢性副鼻腔炎に対する内視鏡下副鼻腔手術、慢性扁桃炎に対する両側口蓋扁桃摘出術、頭頸部良性腫瘍に対する手術など幅広い疾患の手術を行っております。慢性中耳炎に対する手術は鼓膜再生術による外来日帰り手術や日帰り手術センターでの鼓膜形成術など、短期滞在手術も可能な体制を整えております。患者様のご希望に沿った最も良い治療法を選択させていただいております。

診療実績

耳科手術 23件
鼻科手術 305件
口腔咽頭手術 67件
頭頸部手術 30件
喉頭微細手術 4件

【論文発表】

Shinya Ohira, Manabu Komori, Wada Kota et al.
Anatomical Features Around Eustachian Tube in Eosinophilic Otitis Media With Eosinophilic Sinusitis. Laryngoscope. 2021.131(10).2689-2695

【学会発表】

- 1.松浦賢太郎.第34回日本口腔・咽頭科学会総会ならびに学術講演会.口蓋扁桃摘出術後の咽頭狭窄に対してCWICKsを用いて修復した1症.2021.9.
- 2.大平真也.第32回日本耳科学会総会・学術講演会.好酸球性副鼻腔炎に合併する好酸球性中耳炎の解剖学的特徴に関する検討.2021.10.
- 3.中村允人.第31回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会.内視鏡下鼻副鼻腔手術後に前弯曲の増悪および鼻弁狭窄を呈し外鼻形成術を施行した1症例.2022.3.

その他の活動

なし

展望/抱負

常勤医2名と、大学病院等と比較すると少人数ではありますが、医療の安全を確保しつつ最大限、高度な医療を提供できるよう診療体制の構築に励んでまいります。